12月議会一般質問傍聴記

休日議会開催に関心が高く 30名を超える傍聴者

牛越 邦夫

池田町議会12月定例会一般質問が、13日（日）行われました。

一昨年から始められた休日議会（昨年は急な総選挙で中止）が実施され、多くの傍聴者（報道関係含め延べ30名強）があり、活気ある議会となりました。

若い方も数名参加され、休日議会は一定の意義があったと評価します。しかし日程を一日としたため質問時間が40分に短縮となり、十分な議論ができなかったとも感じました。

松川村議の方が数名参加されていたので、松川の状況を聞いたところ、「休日議会の要請はありません。定例会・委員会とも常時かなりの傍聴がありますから」とのことでした。

町民参加型の議会にするため一歩前進ですが、さらに町民・議会が互いに努力しなければならないと思います。

TPP「賛成」の理由

勝山町長がTPPに「賛成」の立場を表明したことから、2議員が取り上げました。賛成の理由、猛反対しているJAとの関係、米作経営の不安などについての質問に対して、次のように答弁しました。

「農業も自由競争で利益を上げるべきだ、保護されていれば国際化もない。日本は工業国であるのでTPPに賛成」「強い農業者が出ることはJAも強みとなる、発想の転換が必要」今後の戦略については「10年間でコスト4割減の方針が出されている。特色ある有機米、麦、大豆など複合生産を図る」。

確実な米価の下落、生産費の高騰、交付金の廃止、後継者不足などにあえぐ農家の不安に応えるものではなく、残念でした。

防災士資格取得を担当職員に

薄井孝彦議員は地域の総合防災力を高めるため、防災士資格取得の助成を要請しました。

町は「防災担当職員・消防団員の資格取得を行いたい。町民については先進地域を調べながら進めたい」と前向きな回答がありました。広域での防災講習会についても要求し「研修として広域の中で実施できるよう提言したい」と答えました。

介護慰労金が実現します

服部久子議員が何度も取り上げていました、介護慰労金の支給がようやく実現されることになりました。

「新年度から88世帯に5万円の介護慰労金を実施する。現金か現物か、当初予算・暫定予算の検討中」と、在宅介護で毎日御苦労されている家庭に、遅ればせながら朗報となりました。

安曇野で 日本共産党演説会

国民連合政府実現で 安保法制廃止を！

12月20日に日本共産党中信地区委員会主催の演説会が、安曇野市サンモリッツで開かれました。会場は300人を超える参加者で満席、

弁士は来年夏の参議院選挙長野選挙区予定候補の「唐沢ちあき」さん、比例代表予定候補の「たけだ良介」さん、衆議院議員の「藤野保史」さんでした。

藤野保史衆院議員から、国会審議の報告だけではなく、裏話もたくさん聞きました。

信州大学名誉教授の又坂常人さんと「希望・長野」の上條さんから、激励挨拶がありました。

会染保育園の建て替えを要望

建設検討委員会が答申

会染保育園は、新耐震基準ができた昭和56年以前に建設され、雨漏りや壁のゆがみで鏡が割れるなど老朽化が進み、早急な対応が迫られていました。

耐震診断の結果、耐震補強工事が必要と診断されました。それを受けて町は、耐震補強工事と改修という方針を議会に示しました。

議会としては、会染保育園の場所は、地下水位が高く、防災時の避難場所に指定されているが防災面からも不適切な場所であること、入園式などで使用するプレイルームが狭いなどの理由で、場所を変えて新築すべきとの方針を出しました。

しかし町は、社会資本総合整備事業があり多額の支出は控えたいとの考えです。（耐震工事は完了）

7月から保護者や公募者も含めた会染保育園建設検討委員会が数回開かれました。

委員会は、会染保育園と25年に新築された池田保育園を視察し、池田保育園の環境に比べ会染保育園の老朽化は、改修では無理という結論になりました。

そして、12月早々答申が出されました。「老朽化の現状から早急な対応が必要。防災などを配慮した場所へ、新築で整備を進められたい」、「耐震対策が施されている現在の施設は、南部地域の公共施設不足を補う観点から高齢者等が使える施設に利用を」という内容になっています。

町中の買い物の場はどうなるか

商業等活用エリア検討委員会

11月30日に「第8回商業等活用エリア検討委員会」が開催されました。この委員会は一昨年10月に町が委嘱した10名の委員で発足しました。

アップルランドが撤退した後、町中に買い物の場がなくなり、買い物に困る方々から要望署名が出されて、アップルランド跡地を活用しての検討が始まりました。

アップルランド跡地の東側の279４㎡を商業等活用エリアにすることが決まりましたが「店舗を作るのか」「誰が運営するのか」「町がどこまで責任を持つのか」などは、具体的方向がでないまま2年が過ぎました。

委員会で町は①食品スーパーマーケット「ツルヤ」が1丁目南に出店することが決まったこと②松本信用金庫がアップルランド跡地に出店したいと伝えてきたこと、を報告しました。信用金庫は商業等活用エリア面積の内1000㎡を希望している、とのことです。

状況が変わってきた中で「商業施設をどうするか」話し合いました。委員全員が発言しましたが、大半が商業施設建設は必要ないとの意見でした。

多く出された意見は次の内容でした。

・交流センターに、高齢者がお茶を飲んだり簡単な食事をする場所を作って欲しい。

・2丁目の「スペースゼロ」で毎週金曜日にやっている「ハレルヤ市」は続けて欲しい。

・活用エリアの残りスペース（1794㎡）は多目的に使えるイベント広場的にしたらどうか。

私は「年々、車に乗ることが出来ない人達が増えてる状況で、町中に高齢者の憩いの場にもなる買い物の場はどうしても必要だと思う。ツルヤや信金が来ても、それでは解決出来ないので実態を調査して考えることが必要。」と意見を述べました。

この会議の後、署名をいただいた方々のところを訪問して実態をお聞きしています。皆さんのご意見を聞いて、次の委員会に臨みたいと思います。

（山本久子）

町は、早急に保護者の気持ちにそった対応を決定する必要があります。

服部 久子